

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リカバリー焼津本町			
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ～ 令和6年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	他事業所に比べ、広い室内空間を有している。	その日の活動内容に合わせて利用する部屋を変更し、効果的な支援が実施できるよう努めている。活動に積極的に参加を出来ない児童・生徒が居た場合には、全体活動を離れて個別に活動出来る場所を確保している。	空間が広い分、職員が目が行き届かなくなる可能性があるため、職員間の声かけや情報共有をより密とし、事故防止を図ってゆく。
2	プロジェクタと大型スクリーンを有効活用し、視覚と聴覚を利用した支援活動が実施できている。	適切なタイミングで視覚・聴覚情報を提示することで、時刻の区切りを正確に把握したり（タイマー提示等）、体を使った支援活動（ラジオ体操、動画視聴、ヒーリング等）を実施している。	大きな音や激しい動画を苦手とする児童・生徒も居るため、安易にAV器材に頼ることなく、適切な使用機会を常に考えながら実践してゆく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	立地条件によるものだが、お散歩や外出の機会がとても少ない。室内空間は広いが、閉鎖的な支援活動に偏りがちである。	JR駅周辺に立地していることもあり、周辺は交通量も多く緑も少ない。外出を極端に拒む児童・生徒も在籍しているため、屋外活動の実施回数が極端に少なくなっている。	全体での行動ではなく、少人数ごとの散歩を試験的に実施を始めたが、良好な成果を挙げ始めている。出発時間を時間差で設定をし、事業所内に留まる児童・生徒に適切に対応するなどの工夫を実践している。効果的な屋外活動支援を今後も模索してゆく。
2	強度行動障害児童・生徒が多数在籍をしている（4名）。連日の御利用者も居るため、職員の対応が多忙を極めている。	強度行動障害実践研修修了者が2名居るため、効果的な支援計画を立案することは可能であるが、他の業務作業にも追われ、十分に対応が出来ていない。	支援計画についてのミーティングや情報共有が不足している。業務時間内に適切なタイミングで話し合いの場を設け、支援方針についての深い議論を行い、効果的かつ適切な支援方法を構築してゆく。
3			